

皆さん、おはようございます。

元気に二学期のスタートを迎えられたことを、大変嬉しく思います。

この約四十日間の夏休み、皆さんはどのような時間を過ごしたでしょうか。

私はこの夏、オーストラリアでの海外語学研修に同行する機会に恵まれました。現地での生徒たちの姿は、本当に頼もしいものでした。最初は慣れない英語表現や異文化の壁に戸惑いながらも、諦めずに自分の考えを伝えようと挑戦し続ける姿、そして日に日にたくましく成長していく表情を目の当たりにし、心から深い感銘を受けました。

もちろん、成長の舞台は海外だけではありません。この学校の校舎やグラウンドにも、そして東京を離れた各地でも素晴らしい熱気が満ち溢れていました。

連日の猛暑の中、夏季講習に真剣なまなざしで向き合う姿。汗を流しながら目標に向かって仲間と声を掛け合う部活動の姿。そして、秋の黎明祭に向けて、意見を出し合い、ひとつのものを創り上げようと協力する姿。校内のあちこちや学校を離れた場所で、皆さんが自分の「いま」に一生懸命に取り組む姿を見ることができ、胸が熱くなる思いでした。

語学研修で新しい世界に飛び込んだ人も、学校で自分の課題や目標に向き合い続けた人も、地方で全国の高校生に挑んだ人たちも、それぞれが確実に一歩前へ踏み出した、実り多き夏であったと感じています。

今日から始まる二学期は、一年の中で最も長い学期であり、黎明祭をはじめとする大きな行事も控えています。夏休みに培った挑戦する心、そして仲間と協力して物事をやり遂げる力を、ぜひこれからの学校生活で存分に発揮してください。

そして、挑戦する中で、思うように取り組むことができず、焦ったり苦しい思いをすることが出てくるかもしれません。その中には自分で抱えることができない問題もあるかもしれません。そんなときは、仲間に相談するだけでなく、先生方や誰か大人に相談するということも忘れずにいてください。

大崎高校の一人ひとりが自分自身の目標に向かってさらに深く学び、互いを高め合える二学期になることを期待しています。

「誇りを胸に」。自分自身の力を存分に伸ばしましょう。

私からの話は以上です。